

貯法等 保存条件：室温保存

直接容器：気密容器

糖 類 剤

日本薬局方

ブドウ糖

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

ブドウ糖吸収不良の患者

【組成・性状】

組成：本品1g中、日本薬局方ブドウ糖1gを含有する。

性状：本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は甘い。

【効能・効果】

経口的栄養補給、ブドウ糖負荷試験

【用法・用量】

経口的栄養補給には、必要量を粉末あるいは水溶液として経口投与する。

ブドウ糖負荷試験には、通常成人1回ブドウ糖として50~100gを経口投与する。

なお、年齢、体重により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

(1) カリウム欠乏傾向のある患者〔ブドウ糖の投与によりカリウムが細胞内に移行し、一時的に血清カリウム値が低下し、症状が悪化するおそれがある。〕

(2) 糖尿病の患者〔高血糖を生じ、症状が悪化するおそれがある。〕

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

消化器(頻度不明)：大量を経口投与するとき悪心・嘔吐、下痢、腹痛を起こすことがあるので、慎重に投与すること。

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

*【薬効薬理】

(1) 経口投与されたブドウ糖は胃腸管から速やかに吸収されて血液中に入り、体内でエネルギー源となり代謝される。

(2) また肝、心筋グリコーゲン量をたかめ、あるいは全身の細胞機能を亢進して生体の代謝機能を増し、また解毒効果を示す。

(3) 10~50%の高張ブドウ糖液を静注すると、血液浸透圧が上昇することにより組織水分が血液中に移動し、利尿作用を示す。

(4) 生体内でブドウ糖が代謝されるときにカリウムが消費されるので、高カリウム血症の治療に用いる。

【有効成分に関する理化学的知見】

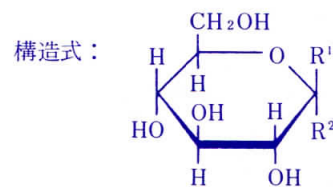
一般名：ブドウ糖 (Glucose)

化学名：D-glucopyranose

分子式：C₆H₁₂O₆

分子量：180.16

性状：本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は甘い。水に溶けやすく、エタノールに溶けにくく、エーテルにほとんど溶けない。



α-D-グルコピラノース：R¹=H, R²=OH

β-D-グルコピラノース：R¹=OH, R²=H

本品は、α-D-glucopyranose、β-D-glucopyranose 又はその混合物である。

【包装】 500g

【主要文献】 第13改正日本薬局方解説書(1996) (広川書店)

【文献請求先】 山善製薬株式会社 学術室 TEL06-6231-1821 FAX06-6231-1824

〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-2-4

製造販売元



山善製薬株式会社

大阪市中央区道修町2丁目2番4号